

(1) 次の文章を読み、空欄（1）～（16）に当てはまる適切な語句を答えなさい。

12世紀半ば、天皇の後継問題や摂関家の内紛により、1156年に（1）の乱が勃発。続いて1159年に（2）の乱が起こると、武士の力は中央政界で不可欠なものとなった。この混乱を勝ち抜いた平清盛は、武士としては初めてとなる（3）に任命され、自らの娘を天皇の妃にするなど、かつての藤原氏のような手法で権力を握った。しかし、これに反発した（4）による平氏打倒の院宣を機に源氏が挙兵。1185年、平氏は長門国の（5）の戦いで滅亡した。

源頼朝は（6）年に守護・地頭の設置を認めさせ、鎌倉に幕府を開いた。幕府は将軍と御家人の主従関係を基盤とし、武士たちは「（7）の道」と呼ばれる武芸と道徳の鍛錬を重んじた。1221年の承久の乱後、幕府は朝廷を監視するために（8）を設置し、さらに支配力を強めた。

源氏の血筋が途絶えると、北条氏が執権として実権を掌握。3代執権の北条（9）は御成敗式目を定めて武士の裁判基準を明確にした。その後、元が大軍で襲来（元寇）すると、執権の北条（10）が指揮を執った。元は属国となった（11）の兵と共に攻め寄せたが、二度目の（12）の役では、博多湾に築かれた（13）や暴風雨によって撤退した。

元寇後、恩賞への不満から幕府への信頼は揺らぎ、倒幕の動きが活発化した。後醍醐天皇に呼応した河内の悪党である（14）らが挙兵し、足利尊氏が六波羅探題を攻略。さらに上野国の有力御家人であった（15）が鎌倉に攻め込んだことで、（16）年に鎌倉幕府は滅亡した。

1：（ ） 2：（ ） 3：（ ） 4：（ ）
 5：（ ） 6：（ ） 7：（ ） 8：（ ）
 9：（ ） 10：（ ） 11：（ ） 12：（ ）
 13：（ ） 14：（ ） 15：（ ） 16：（ ）

(2) 以下の表は鎌倉時代に生まれた新しい仏教をまとめたものである。(ア)～(キ)の空欄に入る語句を答えなさい。

浄土宗	法然	「(ア)」と唱えれば、極楽浄土で生まれ変われると説いた。	ア：()
浄土真宗	(イ)	仏に頼る(ウ)の方が救われる「(ウ)正機説」を説いた。	イ：()
時宗	(エ)	踊念仏や念仏の札を配ることによって教えを広めた。	ウ：()
日蓮宗	日蓮	「南無妙法蓮華経」の(オ)を唱えれば救われると説いた。	エ：()
臨済宗	(カ)	特に幕府の有力者に支持された禅宗。	オ：()
曹洞宗	(キ)	北陸を中心とする地方武士から支持された禅宗。	カ：()
			キ：()

(3) 鎌倉時代の武士と民衆に関する次のA～Eの文章を読んで、間違っているものをすべて選びなさい。

- A：武士は弓の訓練として、疾走する馬の上からの的を射抜く笠懸や、犬と一緒に獲物を追う犬追物などを行った。
 B：地頭はたびたび農民と争いを起こしたため、幕府は地頭と農民で土地を半分ずつわける下地中分を行った。
 C：武士の惣領が亡くなった際は、女子にも土地が分け与えられたため、女性の地頭も多くいた。
 D：同じ田畑で米と麦を作る二毛作が畿内を中心に行われるようになり、収穫量が増えた。
 E：寺社の境内や交通の要所では定期市が毎日開催され、宋から輸入した銅銭が使用されるようになった。

()